



16. 八幡社 ↓

創建は鎌倉時代末期(1318年)。祭神は應神天皇。本殿(外からは見えない)は江戸時代初期の建立と伝えられる。菊水観音出現の伝説がある。



17. 復元した一里塚と松並木 ↓

平成17年12月、横浜市の一里塚と松並木の復元事業。平成19年2月、一里塚と松並木が復元された。場所の制約から十分な大きさの塚を築くことができなかったが、塚の上には昔のように榎を植え、松並木とともに宿場時代の再現に努めた。



↑ 18. 外川神社

お仙人様の名で親しまれ子供に虫封じに効き目があるといわれた。ご神木のケヤキが見事である。祭神は日本武尊。



↑ 15. 大仙寺

開山は平安時代中期(970年)といわれ区内で最も古い寺の一つ。本陣をつとめた軽部家の菩提寺であり、旧東海道からは山門をくぐり参道が続いていた。真言宗。



13. 保土ヶ谷本陣跡 →

宿場の中でも立派な建物である本陣は、代々軽部家がつとめた。現在は当時を偲ばせる門や土蔵が残っている。明治3年(1870)に軽部に改姓し、現在も在住されている。



← 7. 天徳院

開山は安土桃山時代(1573年)。本尊は運慶作といわれる地藏菩薩坐像。土地の豪族、小野筑後守が帰依して建立した。曹洞宗。



8. 大蓮寺 →

開山は江戸時代初期(1625年)。日蓮上人が泊まった家を法華堂に改修したのが寺の始まりとのこと。家康の側室おまんの方お手植えのざくろの木がある。日蓮宗。



← 9. 遍照寺

開山の年代は不詳(876年開山とも伝えられる)。本尊の薬師如来像は横浜市指定文化財。念仏百万遍の供養塔や、岡野新田を開拓した岡野家の墓所がある。真言宗。



10. 金沢横町の石碑(道標) →

金沢や鎌倉への分岐点。角に道案内の石碑が4基並んでいる。その中に「程ヶ谷の枝道曲がれ梅の花」と杉田梅林への道を示す俳句を詠んだ碑がある。



← 4. 神明社

創建は平安時代中期(970年)。当地は伊勢神宮の御領地として寄進され榎谷御厨と呼ばれ、その鎮守として神明社が建立された。祭神は天照大御神。



← 6. 見光寺

開山は江戸時代初期(1629年)。保土ヶ谷の住人で熱心な浄土宗の信者、茂平夫妻が建てた。保土ヶ谷出身のコラムニスト青木雨彦氏の句碑がある。



← 四. 杉山社

創建年代は不詳だが、市内に数多くある同名社と同じく古社と思われる。祭神は五十猛命。境内の石灯籠には「伊勢大神宮」と銘が刻まれた「怪力石灯籠」の伝説がある。



三. 安楽寺 →

開山は天文年間。本尊は阿彌陀如来。当時、境内にあった八幡社の泉から出現したと伝えられる掬水観音像が本堂内に安置されている。真言宗。



← 二. 圓福寺

開山は室町時代初期(1430年)。本尊は地藏菩薩。この本尊には、寺の背後の竹林から出現したという筈地藏の伝説がある。国道沿いのツツジが美しい。真言宗。



← 11. 御所台の井戸

(政子の井戸とも) 北条政子が鎌倉への途中ここで飲んで井戸の水を使ったといわれる。明治天皇が本陣でご休憩された際にもこの井戸の水が使われたという。



← 12. 北向地藏

金沢道と弘明寺道(鎌倉下の道の名残か?)のつじみちしるべに分かれの辻に道標を兼ねて、お地蔵様が北向きに建てられた。



一. 福聚寺 ↓

開山は南北朝時代(1335年)。本尊は釈迦如来。十返舎一九の弟子、五返舎半九の墓がある。臨済宗建長寺派。



◆ コース 4

保土ヶ谷駅東口 ~ 保土ヶ谷駅東口 行程 1.8Km 約1時間

(現在は旧東海道から鉄道や国道に隔てられているが、いずれも旧宿場内の社寺である)

